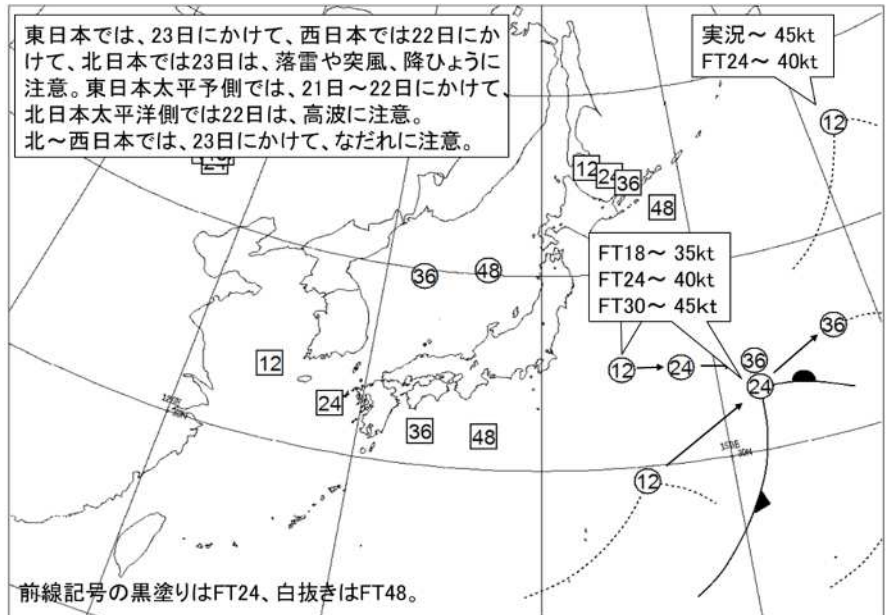


### 1. 実況上の着目点

- ① 東～西日本には500hPa -30℃の寒気を伴う 5460～5580m のトラフがあって南東進。トラフ前面の関東の東には低気圧があって、ゆっくり東進。
- ② 沿海州付近と東シナ海には高気圧があって、北～西日本日本海側では、気圧の谷となっている。
- ①の低気圧や気圧の谷近傍では、上空寒気の影響により大気の状態が不安定となっている所がある。伊豆諸島付近では1時間におよそ30mmの雨量を解析、雷を検知。
- ③ ①の低気圧の他、千島の東と小笠原諸島近海には低気圧があって、



主要じょう乱解説図

東北東進。これらの低気圧と②の高気圧との間で気圧の傾きが大きく、北～西日本太平洋側ではやや強い風が吹いて、波が高い所がある。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒気を伴ったトラフは、22日朝にかけて日本の東に移動し、1項①の低気圧は、22日にかけて日本の東へ東南東進する。また、1項③の小笠原諸島近海の低気圧は、21日夜までには前線を伴い、22日は日本の東の低気圧と一つになって、発達しながら東北東進する。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹き、うねりを伴って波が高くなる所がある。東日本太平洋側では21日～22日にかけて、北日本太平洋側では22日は、高波に注意。
- ② 1項②の沿海州付近の高気圧は、22日はオホーツク海、23日は千島近海へ進む。また、1項②の東シナ海の高気圧は22日は西日本へ、23日にかけて日本の南へ東南東進する。西日本日本海側では22日にかけて、北～東日本日本海側および東日本太平洋側では、23日にかけて地上の気圧の谷が続く。また、22日夜までに日本海に低気圧が発生し、23日にかけて東北東進する。
- ③ 23日にかけて500hPaには北～東日本で-30℃以下、西日本で-27℃以下の寒気が流入するため、2項②の気圧の谷や低気圧の近傍では、大気の状態が不安定となる所がある。東日本では23日にかけて、西日本では22日にかけて、北日本では23日は、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ④ 日本付近では、平年より気温が高い状態が続いている。850hPa気温は、北日本で23日にかけて平年差+5～10℃、東～西日本と南西諸島で22日～23日にかけて平年差+3～6℃と、平年より気温が高い状態が続く見込み。北～西日本の積雪の多い所では、23日にかけてなだれに注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：東北・関東3m。

### 5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。